

海外自治体幹部交流協力セミナー2015（パリ事務所管内） 地方交流事業概要

7月23日（木）【移動（東京→豊岡市） 豊岡市表敬/講義/参加者プレゼン】

（１）中貝豊岡市長表敬

中貝豊岡市長から歓迎の挨拶。観光、環境施策について意見交換を行った。特に情報の発信はフランス、と参加者を歓待いただいた。



豊岡市長表敬

（２）豊岡市行政説明および参加者のプレゼンテーション

今回のテーマである、芸術・文化を活用したツーリズム施策に関する「パフォーミング・アーツ・ツーリズム」、また環境再生のシンボルであるコウノトリの野生復帰までの状況について、市長自ら説明いただいた。参加者からは、地元自治体の特徴などをプレゼンし、これからのセミナーでの共通項、課題等の認識を新たにする機会となった。

（３）豊岡市主催歓迎夕食会

豊岡市市長主催の夕食会が行われ、中貝市長、真野副市長をはじめとするこのたび受け入れていただいた大交流課のみなさんの歓迎を受けた。



移動中の新幹線での打合せ



豊岡市歓迎夕食会

7月24日（金）【視察】

（１）コウノトリの郷公園

特別天然記念物コウノトリが生育環境の悪化により姿を消してしまったが、市民、行政が一体となって生息復活に向けた取組や、さらに農薬や化学肥料に頼らない「コウノトリが育むお米」ブランドなどについての説明を受けた。昼食では、そのお米を使ったおにぎり体験など環境の重要性等を学んだ。



コウノトリの郷視察

（２）玄武洞

噴火によって作られた天然記念物の洞窟を、ボランティアガイドに説明いただいた。

(3) 城崎温泉

宿泊先の城崎温泉では、思い思いの浴衣をチョイス。町中の温泉廻りなど、和の情緒を味わう夜となった。特に、この日から夏の縁日が始まったことも有り、急遽町中散策ツアーをしたて、日本の夏も知ってもらえたことができた。



おにぎりづくり体験



お気に入りの浴衣で、これから温泉

7月25日(土)～27日(月)【視察/ホームステイ】

(1) 城ヶ崎温泉

城崎温泉は町自体が「お宿」のコンセプトという、街作りに関する説明を受けた。最近では外国人にもとても人気が高いが、外国語に対するインフラについての質疑応答など意見交換を行った。

(2) 城ヶ崎国際アートセンター

「アーティスト・イン・レジデンス」。芸術、文化を活用したパフォーミング・アーツ・ツーリズムを通じて、世界中に豊岡市を売り込み、芸術家支援を行っている姿を視察した。



ホストファミリーとの対面式

(3) ホームステイ

夕刻から、ホームステイがスタート。27日(月)のお昼まで、ホストファミリーと過ごした。日の夏休みということもあり、バーベキューや朝のラジオ体操など日本の家庭を味わい、地域住民と様々な交流が図れた時間であった。

7月27日(月)【視察/会議】

(1) 出石視察

出石町という昔の町並みや近畿地方最古の芝居小屋「永楽館」などを視察。芝居小屋の座席や未だに人力で舞台を動かす奈落など、珍しいものばかりで疑問、質問が絶えなかった。

(2) 豊岡市HP「フランス語編」編集会議

これからフランス語編のサイトを展開したいと計画をしていた豊岡市。試作品を参加者見てもらい、生の感想を聞かせて欲しい、と編集会議を行った。率直な意見のやりとりは、次の重要なステップになったとのこと。



芝居小屋視察

7月28日（火）【視察/意見交換会】

（１）カネカソーラーテック(株)

自然環境づくりと地域経済の発展を両立させる“環境と経済が共鳴するまちづくり”という豊岡市の理念に共鳴し豊岡市で太陽電池の製造を行っている。ここで起業していることにより雇用や地域経済の活性化に貢献している、という説明を受けた。



HP編集会議



企業視察

（２）帰国前意見交換会

セミナー最後の意見交換会では、フランスと共通点の多い豊岡との今後も交流を続けていきたい、と発言があった。今回のテーマであった再生に伴う環境保護や、地方の課題である空家問題など共通の課題も多く、多岐に渡る活発な意見交換が行われ、当初（多めに）2時間半を予定をしていたが、最終的に4時間を越え、有意義な意見交換となった。

7月29日（水）【視察】

豊岡市議場視察。

交流を深めさせていただいた中で、市役所の隣にあるという議場を急遽視察させていただくことができた。

座席、システム等、フランスとの比較をしながら、興味深く見学していた。



白熱した意見交換会



豊岡市議場訪問